

項目	要領等の説明
(13) 【引き技】 小手はじき面 (又は小手・胴)	相手の構えを少し押し下げ、反動で戻そうとする相手の「右小手臂」を、自己の「左小手臂」でやや下方(又は横)から「はじく」ように当て、相手の構えが崩れたところを、左後方に引き打突する。 この場合、相手の小手をはじく際に、自己の左足を相手側に出すとより効果が期待できる。
表押さえ肩	脚送り合いを解消する方法として「相互に退く」ことがあるが、このとき途断なく相手の竹刀を数から押さえるようにしながら退き、竹刀を浮かすように上げた後、左後方に引きながら竹刀を返し打突する。 (この場合、敢えて「引き胴」の説明とするが、「引き面」でも良い。)

(別図「竹刀の持ち方」)

